

新上水流橋に名板取付

児童が命を吹込む

オリエンタル白石



オリエンタル白石㈱は、1日、出水市の南九州西根道路に整備した新上水流橋で橋名板の取り付け式を行った。工事関係者をはじめ、橋

橋名板のレプリカを受け取る
児童＝出水市の現地で

名板の文字を書いた下流小学校の児童2人が参加して、橋に命を吹き込む橋名板を取り付けた。現場は、九州地方整備局鹿児島国道事務所の発注のオリエンタル白石㈱が担当している鹿児島3号上水流橋上部工。
同日は、同事務所の小林守阿久根建設監督官の挨拶に続いて、栗本英生現場管理人が橋名板の文字を書いた同小6年生の永松柚実さんと西池陽生君に感謝状を贈呈。また、実際に取り付けられる橋名板(200×500㎜)の5分の1サイズのレプ

リカが記念品として贈呈され、受け取った2人は歓声を上げて喜んだ。また、実際に橋の2カ所に橋名板を取り付けも行い、地域の新しい橋の完成を祝った。永松さんと西池君は

「大人になっても残るものなので、採用されてとてもうれしい」と笑顔で話し、栗本現場代理人は「地域の橋や道路を作っている建設業界に少しでも興味を持ってもらえれば」と語った。